

2012 第二地連へら鮒釣り大会

6月10日(日) さいたま市「武蔵の池」

第二地連新聞



優勝は
荒川 森嶋さん
 昨年引き続き二連覇!

発	行	責	任
第	二	地	連
編	集	責	長
第	二	地	連
東	京	清	掃
労	働	組	合
第	二	地	連
2012年07月01日 第27号			

6月10日(日)埼玉県さいたま市「武蔵の池」において、第12回第二地連釣り大会が地連組合員16名の参加で開催されました。昨日(6月9日)の雨天で、天候が心配されましたが、当日は薄曇りながら陽射しもあり天候に恵まれました。

参加選手たちは、早朝の5時前より集合して、池の状況や釣果の予想、釣り餌の配合等の話し合いをし、5時30分に釣り場が開場すると、参加者がそれぞれ釣り場に座り競技が始まりました。

参加者が様々な釣り餌を配合し、釣竿が絞れる度に一喜一憂しながらも、支部門を越えた交流になりました。普段のストレス等を発散して、純粹にへらぶな釣りを楽しみ、14時00分に納竿となりました。

今回の釣り大会は、本部の組織集会和日程が同じになり、参加者が昨年より少なくなりました。

来年度は、本部の取り組みと日程が重ならないように注意をしながら、一人でも多くの参加者を募り、第二地連のレク活動の一環として、支部間の交流を深めるために、開催していきたいと思えます。

【事務局長・原田輝高】



左から、3位の大林さん(文京)、優勝した森嶋さん(荒川)、2位の岡崎さん(荒川)

僅差で優勝！

一二連覇を達成！

荒川支部 森嶋 由晴

第二地連釣り大会に参加された皆様、お疲れ様でした。

前日の雨から一転、晴れて暑い位の陽気に・・・これで魚もガンガン釣れれば最高だったのですが、渋い釣りでしたね。

雨が降った次の日は食い渋る傾向が強いです。

なので、セット釣りで始めてみました。隣が1mのタナだったので、自分はチョーチンを選択・・・隣がソコソコ釣れているのに自分はイマイチ、でも型は良いので、そのまま粘ってみた。

結果、ギリギリで優勝・・・でも隣の二位になった岡崎さんは、仕掛けを5回も切っていたので、トラブルが無ければ岡崎さんの優勝でしたね。・・・まだまだ精進です。



文京支部
齊藤 実

6月10日(日)、埼玉県さいたま市指扇「武蔵の池」で、第二地連へらぶな釣り大会が開催されました。前日は大雨でしたが、当日は曇りで、日中は晴れ、日焼けするほどの暑さでした。

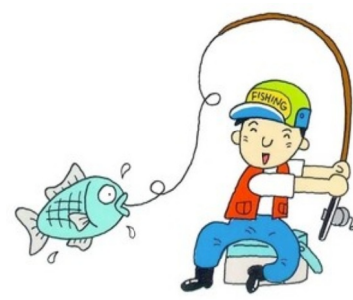
4時半には起床し、5時半に会場の指扇で文京の仲間と合流しました。参加者は自分の「釣り座(※1)」で、思い思いのエサⅡ「ダンゴ(※2)」を作り、6時に競技開始となりま

した。地連参加者以外に、多くの一般参加者がいて、会場はほぼ満席状態で、大変混み合っていました。多くの参加者が「釣り棧橋」を行き来するため、絶えず水面が波だつて揺れていたため、魚が警戒してしまい「食い」が悪く、あまり釣れませんでした。これは午後になつてもあまり変わらず、全体的に釣果がよくありませんでした。2年前に優勝した大林君も苦戦をしていました。それでもさすが優勝経験者だけのことはありません。3位入賞を果たし、文京の仲間ではトップの成績でした。

わたしは、一貫して「底釣り(※3)」に徹し、数は上がりませんでした。が、「型の良い魚(※4)」をゲットすることができ、自分なりに満足しています。隣の釣り座の人は、「りゃんこ(※5)」で釣り上げていました。羨ましい。「チョウチン釣(※6)」が有利という前評判でしたが、上針に「バラケ(※7)」、下針に「食わせ(※8)」の「セット釣り」が上位を占めました。また、テンポの良い「浅棚(※9)釣り」が休日の混み合っている釣り場で有利なこと示されました。

今回優勝された荒川支部の森嶋さんは、昨年優勝し、ここ4年を見ても、森嶋さんが参加されなかった2010年以外、3回とも優勝を飾っています。すごいですね。残念ながら年々、参加者が減少気味で、ちよつと寂しい気もします。初心者にも丁寧に教えますので、来年は多数の方が参加されることを期待します。青空の下で行う釣りは気持ち良く、何も考えずとても楽しいですよ。みんな来てね。最後に用語説明をしましたので、どうぞご参照ください。専門用語が多数ありますが、へらぶな釣りは奥が深く、楽しいですよ。一緒にやりましょう。

◇◇◇
 ※1 「釣り座」..釣るための座席、場所
 ※2 「ダンゴ」..釣り餌を、種々の配合に(麩、マッシュユ、グルテン)などを用いて練り餌をダンゴ状にする一種の餌をいう。
 ※3 「底釣り」..餌を底につけて釣る釣り方。底には比較的大型の魚がいる。
 ※4 「型の良い魚」..魚が大きいこと。
 ※5 「りゃんこ」..2本の針の両方に魚が食いつき、釣れること。「ダブル」ともいう。
 ※6 「チョウチン釣り」..竿の先端部分だけ残し、深宙(ふかちゆう)での釣法で、竿の長さいっばいで、竿と浮きの間隔が少ない。
 ※7 「バラケ」..餌がばらけること。
 ※8 「食わせ」..食わせる餌のこと。うどん、麩(ふ)、とろろなどを使用する。
 ※9 「浅棚(あさだな)」..魚がいる層を示す。浅いところ。「棚が浅い」と言ったりする。通称「かつつけ」「かつつけ釣り」という場合もある。





台東支部 伊藤富士夫

6月10日(日)さいたま市西区指扇「武蔵の池」にて、第二地連へら鮎釣り大会が開催され、16名が参加しました。前日の夜までの雨で天候が心配されましたが、日中は晴れて28度以上の夏日になりました。

「武蔵の池」は魚を量る自動計量器を備えており、女性の姿も3く4人見受けられました。朝5時半スタート直後から餌無しで釣れた人もいて、和やかな雰囲気が始まりました。

ました。私自身の釣果は9枚で、一年ぶりの釣りにしてはまずまずかなと思いましたが。

このような機会がないと釣り場に向くことがないので、大変に感謝しております。有難うございました。

第12回 第二地連へら鮎釣り大会成績表

順位	氏名	年齢	支部	合計重量(kg)
1位	モリシマ ヨシハル	36歳	荒川	19.69
2位	オカザキ ヒデオ	63歳	荒川	18.14
3位	オオバヤシ シゲル	44歳	文京	13.81
4位	シバイ カネアキ	60歳	台東	10.54
5位	サイトウ ミノル	62歳	文京	8.77
6位	ハガ ユキヒコ	50歳	台東	8.67
7位	ヒルマ カズオ	60歳	荒川	8.11
8位	カネコ ヨシオ	63歳	台東	7.61
9位	コバヤシ トシミツ	45歳	文京	3.98
10位	ハラダ テルタカ	42歳	台東	3.67
11位	イソベ セイジ	41歳	台東	3.53
12位	ハタケヤマ ハルミチ	49歳	文京	3.34
13位	イトウ フジオ	48歳	台東	3.25
14位	サトウ コウイチ	41歳	台東	3.05
15位	スズキ ヤスシ	58歳	台東	1.75
16位	イワイ ヒロユキ	63歳	台東	0.79

◇へら鮎豆知識◇



へらブナ(篋鮎)は琵琶湖ゲンゴロウブナ巨大変異種を選択飼育した飼育種。ゲンゴロウブナは雑食性だが、へらブナは基本的に植物性プランクトンを好んで食べる。

なお、水槽内では細かく砕いたミミズなど動物性餌だけで飼育することは可能である。大阪(河内)で盛んに養殖される「カワチブナ」呼称の由来)、主に淀川水系へ放流された。現在も養殖されて、各地の「へらぶな会」などにより全国に放流されている。